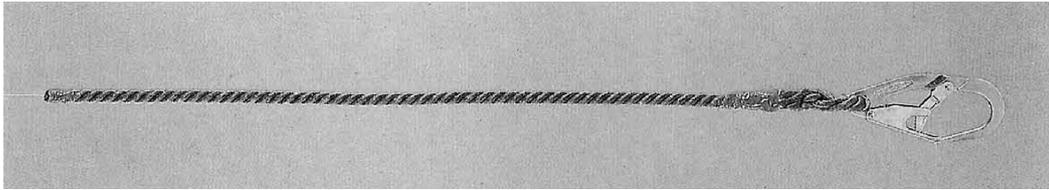


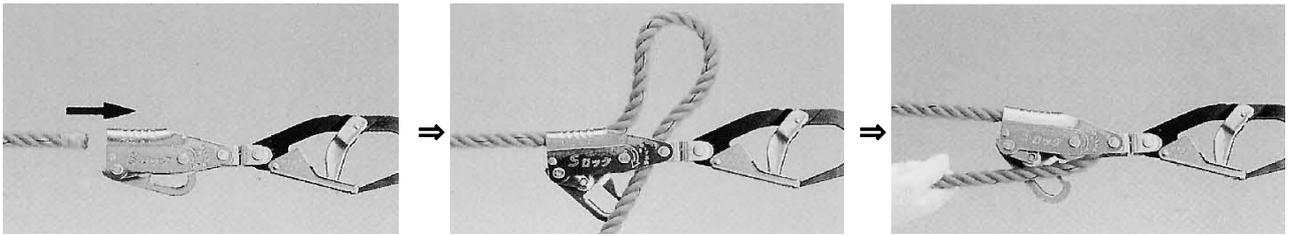
# 親綱・親綱ロック・昇降用安全ロープ

品名	親綱	品番	寸法	テープ色	重量(kg)
		OZ10	10m	赤	1.69
		OZ15	15m	橙	2.54
		OZ20	20m	黒	3.38
		OZ30	30m	—	5.08



品名	親綱ロック	品番	OZRC
		重量	1.1kg

## 親綱ロック使用方法



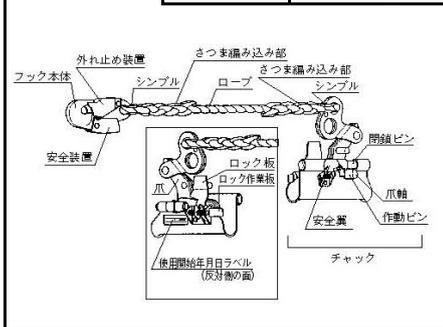
・ロープを入れる

・ロープを下へ通す

・ロープを緊張する

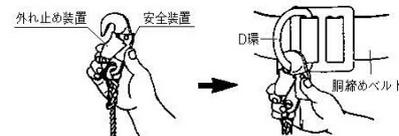
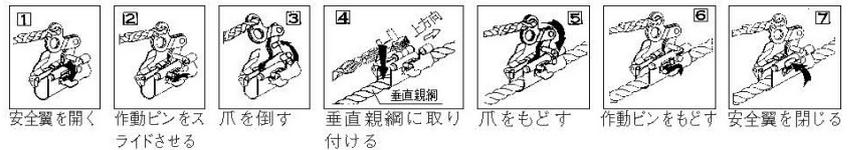
## 昇降用安全ロープ

重量 1.0kg



## 装着方法

①取付上下方向（製品に↑upデ表示）を間違えないようにして、下図の①～⑦の順序でチャックを垂直親綱に取り付ける。



- ②安全帯の胸締めベルトを装着する。
- ③胸締めベルトのD環にスライドチャックのフックを掛ける。フックは、安全装置と外れ止め装置を同時に押さえて開き、D環に掛けた後、外れ止め装置が確実に閉じているか確認する。

## 使用方法

### ①昇降する時

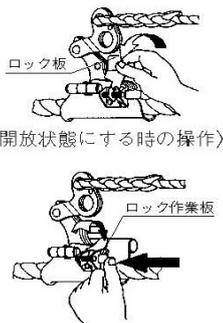
ロック板（OPEN表示の部分）を矢印方向に起こして開放状態にする。

●上に昇る際は、チャックは体の動きにしたがって親綱上を引き上げられる。

●下に降りる際は、チャックの自重で体の動きにしたがって親綱上を下降する。

万一足を踏みはずした場合等はチャックの爪が機能して、すぐに親綱上でロックされ、墜落を阻止する。

※ロック状態でも上には昇ることができる。



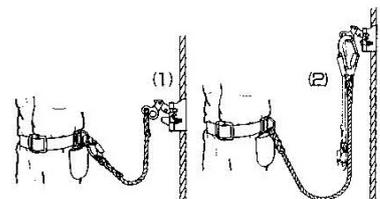
〈ロック状態にする時の操作〉

### ②定位置で作業する時

ロック作業板（LOCK表示の部分）を矢印の方向に押してロック状態にする。（ロック状態では下方には動かない）

●定位置で作業する際は、チャックをロック状態にしたままで、右図のように親綱上のチャックの位置を腰より高いところに固定する。

●定位置での作業時には、安全帯のフックをチャックに掛けて使用してもよい。但し上の(2)図のようにさらに高い位置にチャックを固定し、正しい方法でフックを掛ける。



〈定位置作業時の正しい使用方法〉